



- 地名の花**
- ① 青八
 - ② 赤山
 - ③ 天滝
 - ④ 乳懐
 - ⑤ 馬下広地

② 岩室・樋曾編

- 〔岩室編〕**
- ① 浅ノ尻
 - ② 居掛
 - ③ 裏田山
 - ④ 穀田
 - ⑤ カイサウ
 - ⑥ カウラビ沢
 - ⑦ 上ノ郷
 - ⑧ 菅野
 - ⑨ 笹平山
 - ⑩ 清水山
 - ⑪ 下ノ郷
 - ⑫ 十三車
 - ⑬ 高島
 - ⑭ 瀧ノ山
 - ⑮ 田中島
 - ⑯ 西裏
 - ⑰ 袋ヶ島
 - ⑱ 松岳
 - ⑲ 谷平
 - ⑳ 丸小山
 - ㉑ 湯山
- 〔樋曾編〕**
- ① 青八
 - ② 赤山
 - ③ 天滝
 - ④ 乳懐
 - ⑤ 馬下広地

- ⑥ 大平
 - ⑦ 大高島
 - ⑧ 落シ
 - ⑨ 上稲場
 - ⑩ 上森ノ木
 - ⑪ 川北
 - ⑫ 川南
 - ⑬ 千納
 - ⑭ 源三郎
 - ⑮ 腰巻
 - ⑯ 五十山
 - ⑰ 小平
 - ⑱ 小谷入
 - ⑲ 小屋場
 - ⑳ 桜田
 - ㉑ 笹滝
 - ㉒ 猿田
 - ㉓ 新田四
 - ㉔ 諏訪前
 - ㉕ 芹ヶ沢
 - ㉖ 注連
 - ㉗ 長五十歩
 - ㉘ 狭間
 - ㉙ 道田
 - ㉚ 土詰
 - ㉛ 仲田
 - ㉜ 長滝
 - ㉝ 日暮入
 - ㉞ 深池
 - ㉟ 深沢
 - ㊱ 深田
 - ㊲ 不動滝
 - ㊳ 舟宮
 - ㊴ 眞平
 - ㊵ 明後
 - ㊶ 道下
 - ㊷ 割坂
- ※樋曾是村内で一番小字名の多い地区です。

お知らせ

企業課から
新浄水場で行っていますが、給水開始まで当分の間、夜間および休日の問い合わせは従来どおり役場(電話四二二)か吉田浄水場(電話三七五二)へお願いします。

よりよい環境を求めて：
6月1日～30日は
河川・海岸愛護月間

警鐘が鳴ります
(6月16日朝7時30分)

消防定期総合演習

今月十六日、午前七時半から四時四十分余りにわたって行われます。火災発生を想定した災害時における消火活動の円滑化と、状況に応じた防災訓練を実施し、防火に対する理解と意識を高めることを目的に実施されます。

当日は、消防車両がサイレンを鳴らしたり、警鐘が点打されますのでご注意ください。また、ご家庭でも火の元には十分に注意してください。

ご協力を——
農薬の航空散布

稲の病害虫を防ぎ、おいしい米づくりのため、今年もヘリコプターによる農薬散布を行います。道路付近は早朝に散布しますが、できるだけ真下を通らないようお願いします。朝仕事などで早朝に田や畑に出かける方は、農薬をあびないようにご注意ください。

散布の回数4回、朝4時半から9時ころまでです。

しばらくの間、エンジン音にご辛抱ください。洗濯物にもご注意ください。

【散布の日程】

- *1回目(6月)⇒18日(火)～19日(水)
- *2回目(7月)⇒7日(日)～8日(月)
- *3回目(7月)⇒23日(火)～24日(水)
- *4回目(8月)⇒4日(日)～5日(月)

※散布地区など詳しくは、ご家庭に配布してありますチラシをご覧ください。



児童手当
現況届の提出を...
届は今月末までに

【児童手当 現況届受付】

期間	場所	時間
6月17日(月)	岩室村役場	午前9時
6月21日(金)		午後4時30分

児童手当を受けている人は、六月中に「児童手当現況届」を提出することになっています。現況届は引き続き児童手当を受け取るための大切な手続きです。この届は、昭和五十九年中の所得状況と六月一日現在の児童養育の状況などを確認するために出していただくもので、もし届を出さないと、引き続き受けられる資格があっても六月分以降の児童手当を受けることができなくなります。必ず期限(今月三十日)までに提出してください。

※児童手当——十八歳未満の児童を三人以上養育している、そのうち一人以上が義務教育終了前の児童(中学校卒業までの児童)のいる方に出されています。現在手当を受けていない人は役場住民福祉課戸籍・年金係(電話四二二)内線一八一へ届け出てください。

【持参するもの】

- ① 印鑑
- ② 厚生年金証書(国民年金加入者は不要)
- ③ 被保険者証
- ④ 児童の保護者本人(父親)の金融機関口座番号

なお、今年になって岩室村に転入された方は、前住所の市町村役場から「所得証明書」をもらってきてください。

天ぷら火災
目を離さないことが最大の防御
「うっかり火災、ではすまされせん」

■「天ぷら火災」こうして起こる

- 点火して4～5分、揚げごろです。油温はざっと180℃くらい。
- そのままつけばなしで10分間。くさいっ／＼ひどい油煙がでます。
- さらに5分間ほどほっておきますと…パツ／＼「わっ／＼」いっきよに火がついた。
- さらにそのままほっておきますと…ましがいなく火事になりますね。

台所で起きる火災原因のほとんどを占める「天ぷら火災」一般的に天ぷら火災は、その大半が揚げている最中に火をつけたまま「ちよつと台所を離れた」ということで、みすみ大切な財産を失っています。

そして、台所を離れた理由

- ① 電話がかかってきたので
- ② 訪ねてきた人やセールスマンと話し込んでしまった
- ③ ほかの家事をしていて
- ④ などです。

天ぷら火災の最大の防御は、絶対に台所から離れない。もし離れるときは、短い時間でも必ず火を消す、という習慣を身につけるようにすることが大切です。

「うっかり火災」にならないよう、もしも…のために次のことを知っておいてください。

■こうして消します①

- 木綿のシーツを水にひたして。軽くしぼって。折りたたんで。そのあたりに置く。
- 燃え上がったノックと広げて眼の前に上げて、鍋の上にそっとおおいかぶせます。
- 簡単に消えます。シーツの上からノックを閉じて、そのまま20分かぶせたまま。
- いつもねれシーツの用意を。ふきん代りにも使えるんですから。

■こうして消します②

- 大きめの鍋ふたを持ってきて、手前のほうから、滑らすようにかぶせます。
- あわてないでね。ノックを閉めて、そのまま20分間。
- そのほかにもいろんな方法があるけど。まずこの二方法を、実際にやってみましょう。トレーニングしてみよう。
- 自信がつけば……あわてません。

■ぜったいにやっちゃだめです

- 水をかけてはいけません。パツ／＼恐ろしい勢いで燃え上がります。
- 野菜を投げこんではいけません。燃え上がることがあります。油が飛び散り危険です。鍋がひっくり返るかも。
- ふきんや雑布を投げこんではいけません。水気のあるものはすべてダメです。
- 鍋を放りだすこともタブーです。